

【別冊：第60回採石場審議会に伴う現地確認結果】①

第60回鳥取県採石場安全対策審議会に諮問した環境プラント工業(株)採石場について、委員合同の現地確認を行わないこととした。このため、令和2年9月11日(金)に米子県土整備局において標記審議会諮問案件の現場を確認したので、その概要を報告します。

(現場確認概要)

1.日時 令和2年9月11日(金)午前9時30分から11時00分まで

2.場所 西伯郡南部町東上字切塞1250外13筆 環境プラント工業株式会社 採石場

3.立会者

(県側) 米子県土整備局 三村課長補佐、西村係長、西田

(相手側) 環境プラント工業株式会社 村上氏(業務管理者)ほか2名

4.確認状況

今回の岩石採取計画は、令和2年5月までの既認可からの継続の認可申請であり、掘削範囲等を広げるものではない。

事業者(申請者)から、認可計画を申請する説明を聞き取り次の内容について現地で確認を行った。

□開発面積 91, 639m²

□採取面積 7, 093m²

【別冊：第60回採石場審議会に伴う現地確認結果】②

【現地確認結果】

(1) 採石場周辺

採石場への関係者以外の進入防止措置がとられているか。

⇒措置がされている。(P6写真①)

岩石採取場の標識は設置されているか。

⇒設置されている。(P6写真②)

(2) 岩石採取箇所

採取箇所は計画どおりか。(階段掘削・年次掘削計画等)

⇒計画通りであることを確認。(P7～8写真③～⑥)

採取作業は丁張り等を設置し、計画的に行われているか。

採掘勾配(掘削勾配33.00度、平均斜度27.53度)は適当か。

⇒計画的に行われていることを確認。(P7④～⑤)

小段の高さは適当(5メートル以下)か。

⇒適当であることを確認。(P9)

採取後の法面に異常は見られないか。

⇒異常が見られないことを確認。(P9)

【別冊：第60回採石場審議会に伴う現地確認結果】③

(3) 排水計画・緑化

場内の排水処理は適切か。

⇒ 適切であることを確認。(P10～11)

沈殿池又は沈砂池の管理は適切か。

⇒ 適切であることを確認。(P10～11)

排水等の流末処理は適切か。

⇒ 適切であることを確認。(P10～11)

採取完了箇所の緑化は行われているか。(緑化年次計画)

⇒ 行われていることを確認。(P12)

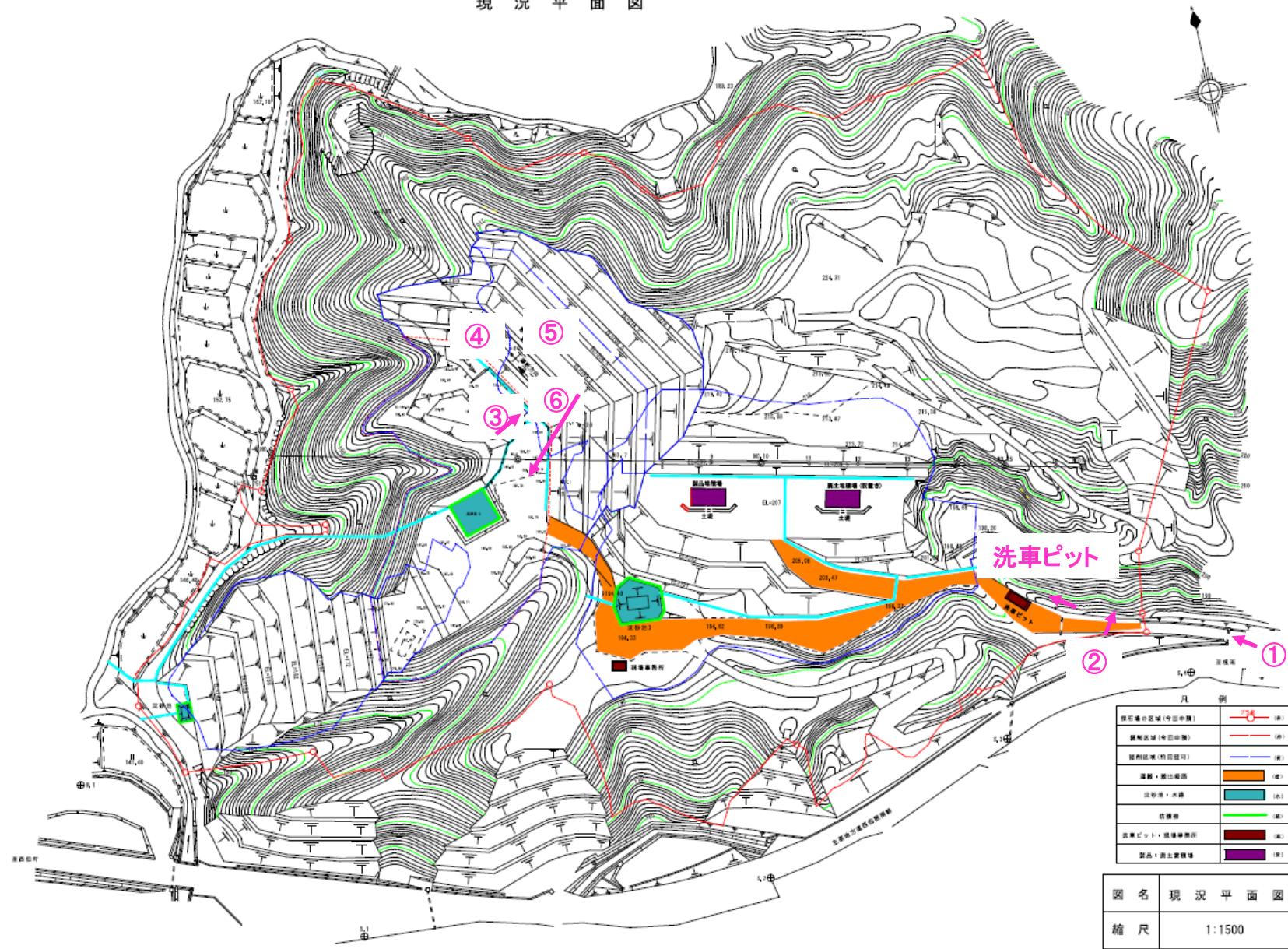
(4) その他

場内の保安施設や洗車場の確認を行った。

⇒ 適切であることを確認。(P6写真：洗車ピット)

【採石場現況平面図及び写真撮影箇所番号】

現況平面図

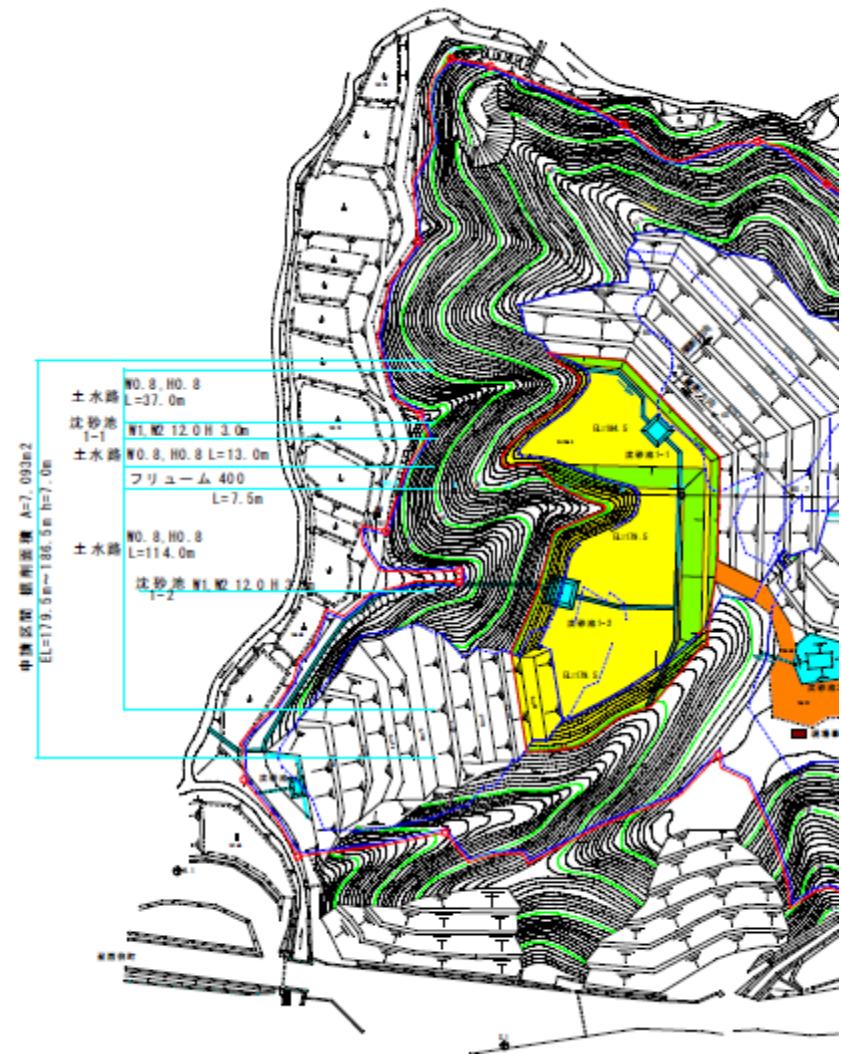


【現況と計画の比較(参考)】

現況平面図



計画平面図



【採石場周辺①】

①進入防止柵



洗車ピット

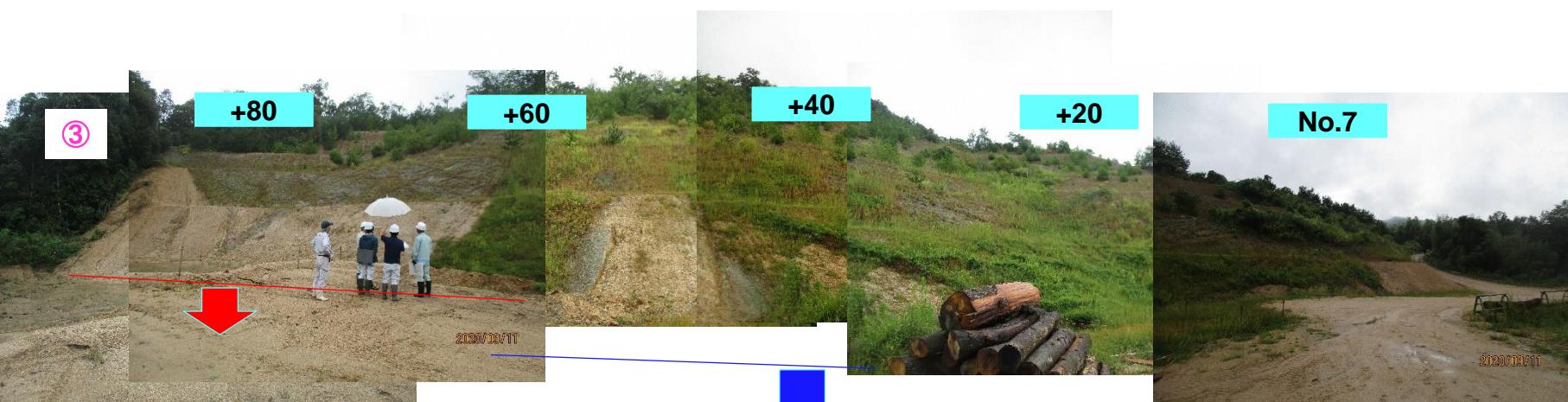


②岩石採取場標識



【岩石採取箇所①】

③岩石採取箇所



計画の説明

今回の計画下方に段階的に切り下げ
赤ラインEL186.5(縦断+40~+80)
1年目で赤矢印EL184.5に2mの切り下げ
青ラインEL179.5(縦断+40~No7)
2~3年目で青矢印EL179.5に5mの切り下げ
計7mを切り下げ【掘削面積7,093m²】

④、⑤掘削勾配



【岩石採取箇所②】

⑥岩石採取箇所



工事用沈砂池
下方に7m切り下げるため、谷の方向に掘削状況により位置をずらして作業する。
→沈砂池1—2

工事用沈砂池



【岩石採取箇所③】

⑥小段の高さ

+60地点
勾配+法面長を計測し
小段高を確認

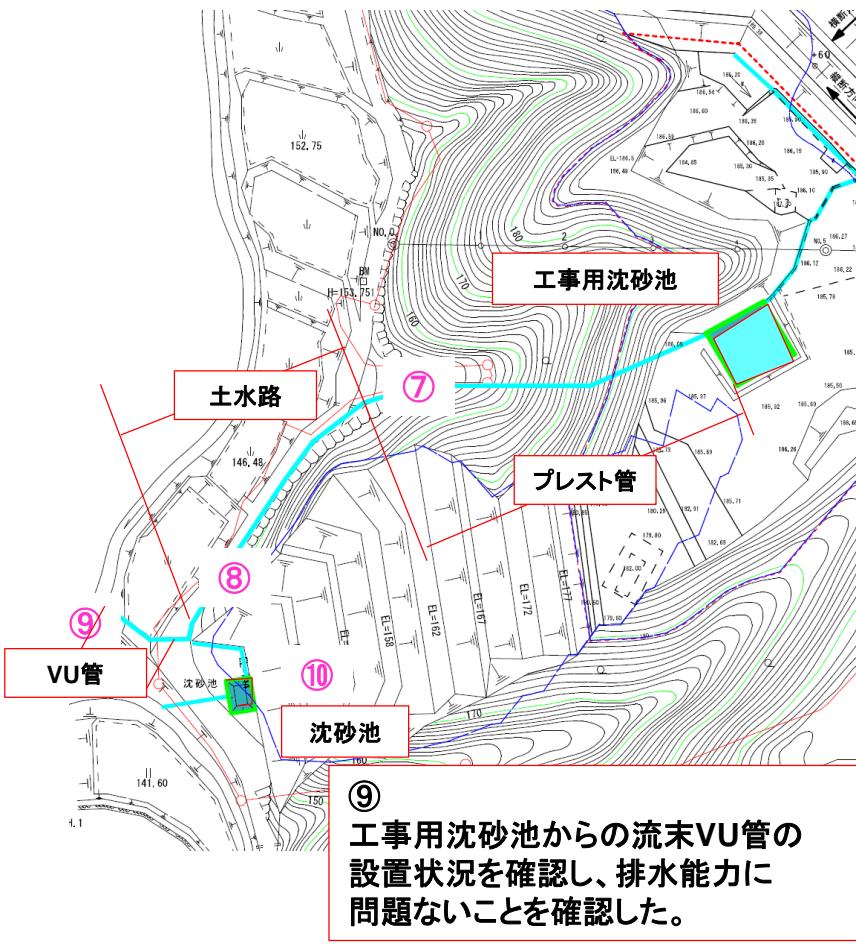


採取後の法面の状況

+60地点
採取後の法面の状況
前回のガリ浸食の箇所には土嚢袋
にて補修されていることを確認



【排水計画・緑化①】

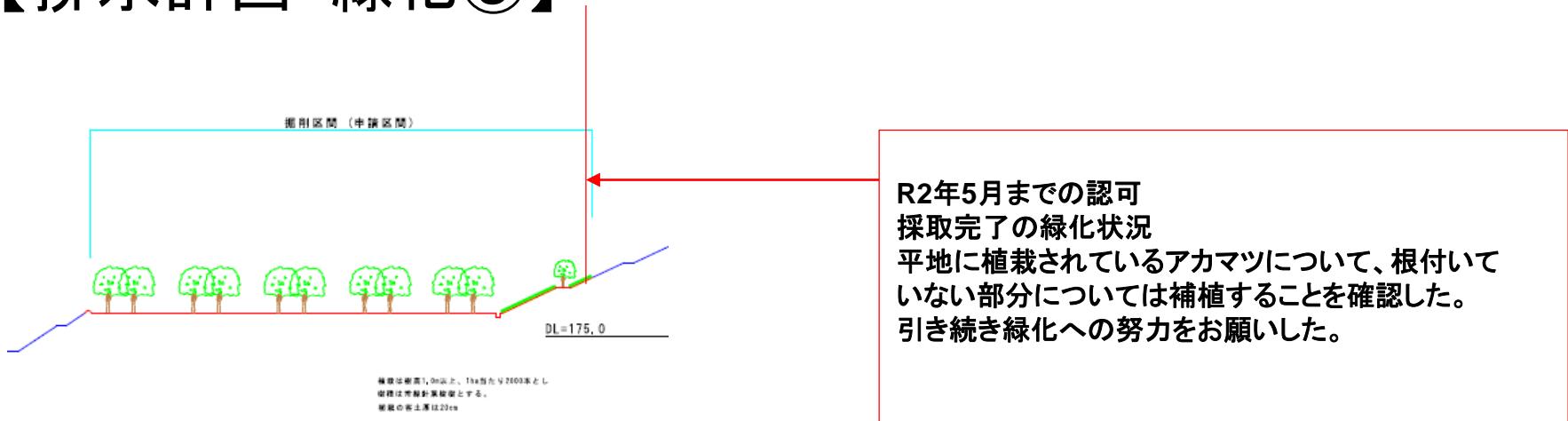


【排水計画・緑化②】

⑩ 沈砂池は以前の小規模開発時に設置したもので、放流先にはヒューム管で排水し能力に問題ないことを確認した。



(排水計画・緑化③)



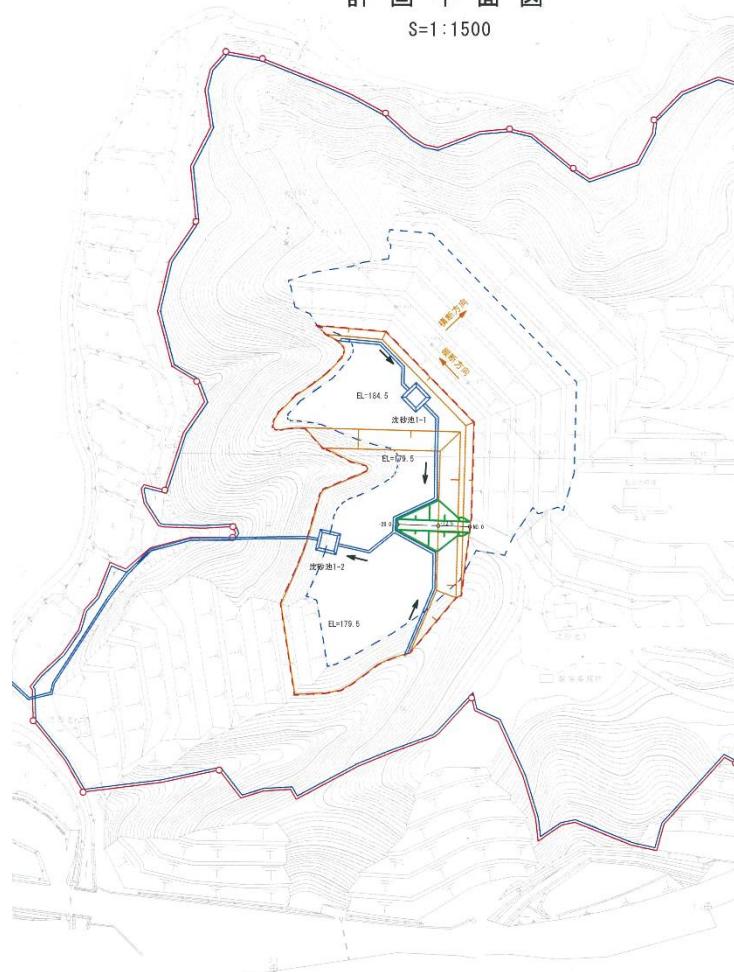
【前回42回審議会における答申についての対応状況】

	審議会での 留意事項	留意事項に対する 対応
	採取して地盤が下がっていくと、搬出路からの搬出が出来なくなると思われる。掘削途中段階の仮水路、仮沈砂池、作業道の設置を含めて再度検討すること。	<p>H28.10回答 H28.10回答 掘削の進捗状況により、搬出路、仮沈砂池の位置変更等が必要となった場合には協議を行い、必要に応じて計画変更を行います。 H29.5.2 計画軽微変更届 工事用仮沈砂池及び仮水路の施工を行う計画 H29.9 に施工完了した。 (H29.9月以降の対応) H29.9月以降の定期点検において問題は見つかっていない。 R2.9.11 現地調査 工事用仮沈砂池および仮水路を確認し問題はなかった。 作業道については別途計画図のとおり盛土にて計画することを確認した。(参考)写真P8参照</p>
	南西の採取完了部の斜面について、河川が近いため安定しているか確認しておくこと。	<p>H28.10回答 調査を行い安定していることを確認しました。 (H28.10月以降の対応) H28.10月以降の定期点検において問題は見つかっていない。 R2.9.11現地調査 現地(沈砂池)から指摘事項箇所の法面を確認し崩れ等がないことを確認した。 (参考)写真P11参照「小規模開発法面確認状況」</p>
	排水計画の流末で道を横断するが、既設構造物に十分な能力があるか確認すること。 (第49回審議会での追加事項) 対策完了までヒューム管の容量不足の状況が続くため、この間の問題発生を回避するための暫定的な安全対策をとること。	<p>H28.10回答 流末にヒューム管が設置してあるが、流量計算を行ったところ、十分な能力が無いことが判明した。したがって、既設のヒューム管に加え、別経路の流末排水路を設置することで、安全に排水できるようにします。→現在、軽微変更申請に向けて資料の作成中です。 H29.6回答 流末にヒューム管が設置してあるが、流量計算を行ったところ、十分な能力となるよう工法の選定を含めて管理者と協議を行います。→現在、軽微変更届の提出があり審査中です。 H29.5.2 計画軽微変更届 H29.6回答 流末にヒューム管が設置してあるが、流量計算を行ったところ、十分な能力となるよう工法の選定を含めて管理者と協議を行います。→現在、軽微変更届の提出があり審査中です。 (第49回追加事項への回答)H29.12月 増設する排水管の設置は進めており、8月末で完了する予定です。既設の排水管については、木枝等の詰まりがないか点検を実施しています。 (H29.12月以降の対応) H29.12月以降の定期点検において問題は見つかっていない。 R2.9.11現地調査 H29年5月に変更届のあった排水経路の分割について現地を確認し排水に問題ないことを確認した。(参考)写真P10参照</p>
	植栽には、苗木が適しているので、再検討すること。	<p>H28.10回答 植栽前に再度検討を行います。 (H28.10月以降の対応) H28.10以降について、掘削後的小段にアカマツの苗木で植栽している状況を聞き取った。 R2.9.11現地調査 一部植栽したアカマツの状況を確認し、今後の植栽について苗木で緑化することを確認した。なお、根つきの悪い部分については適宜補植し引き続き緑化を行う努力をすることを確認した。 (参考)写真P12参照</p>
	降雨による3法面のガリ浸食が見られるので補修すること。	<p>H28.10回答 植生土嚢により補修中です。 (H28.10月以降の対応) H28.10以降の定期点検において問題は見つかっていない。 R2.9.11現地調査 浸食していた部分の補修が行われていることを確認した。なお、引き続き浸食が確認された場合には適宜補修を行うよう指導した。(参考)写真P9参照</p>

(掘削・作業道計画)

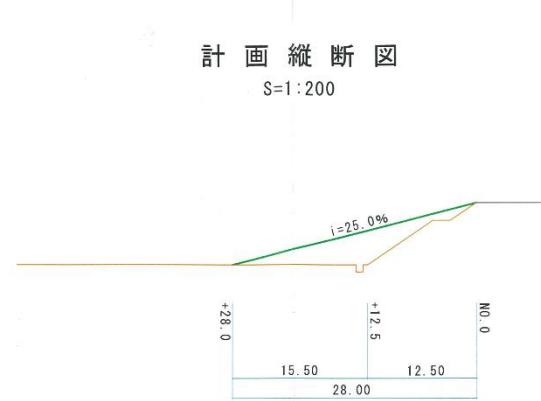
計画平面図

S=1:1500



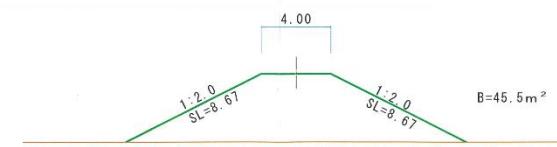
計画縦断図

S=1:200



計画横断図

S=1:100



盛土量

- ① $45.5/2 \times 12.5 = 284.4 \text{ m}^3$
- ② $45.5/2 \times 15.5 = 350.3 \text{ m}^3$
- 合計 634.6 m^3

図名	管理用道路
縮尺	図示